



# (社)日本コンクリート工学協会四国支部

## 第 5 回 総 会

平成 21 年 5 月 22 日 (金)

ロイヤルパークホテル高松

## ① 総会 15:00～16:30

1. 開会
2. 議長の選出
3. 議事録記録者および議事録署名人の選出
4. 議事
  - (1) 平成 20 年度事業報告
  - (2) 平成 20 年度決算報告
  - (3) 会計監査報告
  - (4) 平成 21 年度事業計画
  - (5) 平成 21 年度収支予算案
  - (6) 平成 21 年度役員
  - (7) 助成報告（16：00～16：30）  
報告題目：「高専生による高強度・高流動コンクリートコンペ」  
報告者：水越睦視（高松工業高等専門学校 准教授）
5. 閉会

## ② 特別講演会 16:30～17:30

講演題目：「スイスでは今、何を造っているか」

講演者：大内雅博（高知工科大学工学部社会システム工学科 准教授）

## ③ 懇親会 17:30～19:30

## 平成 20 年度 事業報告(案)

### 1. 拡大幹事会

以下の会議を行った.

第 1 回拡大幹事会

日 時:平成 20 年4月 17 日

場 所:香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席者:9 名

第2回拡大幹事会

日 時:平成 20 年 12 月 26 日

場 所:香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席者:10 名

### 2. 役員会

以下の会議を行った.

第 1 回役員会

日 時:平成 20 年 5 月 22 日

場 所:ロイヤルパークホテル高松

出席者:21 名

### 3. 総会

以下の総会を行った.

平成 20 年度総会

日 時:平成 20 年 5 月 22 日

場 所:ロイヤルパークホテル高松

出席者:31 名

### 4. 研究委員会活動

#### (1) 四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会(参考資料 1)

委員長:氏家 勲(愛媛大学大学院理工学研究科 教授)

委員数:16名

#### (2) 四国の骨材に関する研究委員会(参考資料2)

委員長:堺 孝司(香川大学工学部安全システム建設工学科 教授)

委員数:17 名

## 5. 特別講演会

日 時:平成 20 年 5 月 22 日 16:30～17:30

場 所:ロイヤルパークホテル高松

講演題目:「環境問題とコンクリート技術－荒廃する日本とならないために－」

講演者:阪田 憲次 (岡山大学大学院環境学研究科)

参加者:約 40 名

## 6. 講習会

### (1)ブリッジマネジメント・ワークショップ(参考資料 3)

日 時:平成 20 年 5 月 30 日(金) 13:30～17:00

場 所:香川大学研究交流棟 5F 研究者交流スペース

主 催:(財)大阪地域計画研究所(RPI) ブリッジマネジメント研究会

共 催:香川大学危機管理研究センター・土木学会四国支部・JCI四国支部

日本材料学会四国支部・道路橋補修補強iーギルド研究会

参加者:約 70 名

### (2)2007 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会(参考資料 4)

日 時:平成 20 年 6 月 25 日(水) 12:30～18:00

場 所:サンポートホール高松 第 1 ホール

主 催:土木学会四国支部

共 催:JCI・四国コンクリート技術懇話会

参加者:約 180 名

### (3)フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会(参考資料 5)

日 時:平成 20 年 7 月 24 日(木) 13:30～16:50

場 所:徳島大学工学部工業会館メモリアルホール

主 催:JCI四国支部

共 催:土木学会四国支部・四国コンクリート技術懇話会

参加者:83 名

### (4)平成 20 年度JCI中国・四国支部共催コンクリート工学セミナーin 広島(参考資料 6)

ーコンクリートポンプ施工技術の現状と問題点ー

日 時:平成 20 年 9 月 17 日(水) 13:30～17:00

場 所:広島工業大学広島校舎

主 催:JCI中国支部・JCI四国支部

後 援:土木学会中国支部・日本材料学会中国支部・日本建設学会中国支部

土木学会四国支部・日本材料学会四国支部・四国コンクリート技術懇話会

参加者:72 名

(5)生コンセミナーin 愛媛(参考資料 7)

日 時:平成 21 年 3 月 9 日(月) 13:30～17:00

場 所:愛媛大学工学部

主 催:JCI 四国支部

参加者:60 名

7. 現場見学会(参考資料8)

四国横断自動車道 徳島IC～鳴門JCT建設工事現場

日 時:平成 20 年 10 月 29 日(水) 12:50～17:20

参加者:18 名

8. コンクリート診断士講習会(参考資料9)

平成 20 年 4 月 10 日(木)～11 日(金)

ウエルシティ高松(香川厚生年金会館)

9. コンクリート診断士試験(参考資料 10)

平成 20 年 7 月 27 日(日) 11:00～17:00

香川大学工学部

10. コンクリート技士・同主任技士試験(参考資料 10)

平成 20 年 11 月 30 日(日) 13:30～16:30

香川大学経済学部

11. コンクリート教育への助成

高松工業高等専門学校へ 10 万円の助成金を支給した。

12. ホームページ運営

JCI 四国支部のホームページを随時更新した。

13. 会員増強

|             | 正会員(名) | 団体会員(社) |
|-------------|--------|---------|
| 平成 17 年 8 月 | 226    | 7       |
| 平成 18 年 4 月 | 234    | 15      |
| 平成 19 年 4 月 | 231    | 20      |
| 平成 20 年 4 月 | 238    | 21      |
| 平成 21 年 4 月 | 242    | 18      |

平成 20 年度収支決算(案)・平成 21 年度収支予算(案)

(単位:円)

| 項 目                | H21年度予算   | H20年度予算(a) | H20年度決算(b) | 差 異 *   | 備 考                  |
|--------------------|-----------|------------|------------|---------|----------------------|
| [ 収 入 ]            |           |            |            |         |                      |
| 1.本 部 交 付 金        | 1,381,640 | 1,477,800  | 1,477,800  | 0       |                      |
| 2.コンクリート診断士講習会 報酬金 | 180,000   | 180,000    | 191,600    | 11,600  |                      |
| 3.コンクリート診断士試験 報酬金  | 150,000   | 100,000    | 161,200    | 61,200  |                      |
| 4.コンクリート技士試験 報酬金   | 240,000   | 230,000    | 251,680    | 21,680  |                      |
| 5.見 学 会 収 入        | 20,000    | 20,000     | 13,500     | ▲6,500  |                      |
| 6.講 習 会 収 入        | 0         | 0          | 489,238    | 489,238 |                      |
| 7.雑 収 入            | 2,500     | 2,500      | 2,569      | 69      | 利息                   |
| 当期収入合計(A)          | 1,974,140 | 2,010,300  | 2,587,587  | 577,287 |                      |
| 8.前期繰越収支差額         | 1,960,235 | 1,335,161  | 1,335,161  | 0       |                      |
| 収 入 合 計(B)         | 3,934,375 | 3,345,461  | 3,922,748  | 577,287 |                      |
| [ 支 出 ]            |           |            |            |         |                      |
| 9.会 議 費            |           |            |            |         |                      |
| 1)総 会 費            | 250,000   | 250,000    | 194,570    | 55,430  | 総会費                  |
| 2)役 員 会 費          | 210,000   | 130,000    | 213,400    | ▲83,400 | 会議費・交通費              |
| 3)幹 事 会            | 120,000   | 90,000     | 121,180    | ▲31,180 | 会議費・交通費              |
| 小 計                | 580,000   | 470,000    | 529,150    | ▲59,150 |                      |
| 10.事 業 費           |           |            |            |         |                      |
| 1)特別講演会費           | 70,000    | 70,000     | 70,000     | 0       | 特別講演謝礼等              |
| 2)見 学 会            | 100,000   | 100,000    | 96,096     | 3,904   | バス借り上げ等              |
| 3)講習会・講演会          | 200,000   | 200,000    | 212,147    | ▲12,147 | 会場費・交通費等             |
| 4)広 報 費            | 50,000    | 50,000     | 50,420     | ▲420    | HP維持経費               |
| 5)研究委員会費           | 600,000   | 400,000    | 485,649    | ▲85,649 |                      |
| 6)コンクリート教育助成金      | 100,000   | 100,000    | 100,000    | 0       |                      |
| 小 計                | 1,120,000 | 920,000    | 1,014,312  | ▲94,312 |                      |
| 11.管 理 費           |           |            |            |         |                      |
| 1)事 務 費            | 50,000    | 70,000     | 27,991     | 42,009  | 消耗品・事務雑費             |
| 2)人 件 費            | 216,000   | 180,000    | 180,000    | 0       |                      |
| 3)そ の 他            | 0         | 60,000     | 118,020    | ▲58,020 | 診断士講習会報酬<br>生コン工組分担分 |
| 小 計                | 266,000   | 310,000    | 326,011    | ▲16,011 |                      |
| 12.通 信 費           |           |            |            |         |                      |
| 1)総会関係通信費          | 30,000    | 30,000     | 25,500     | 4,500   | 往復はがき代               |
| 2)事 務 連 絡 費        | 70,000    | 70,000     | 67,540     | 2,460   | 各種案内費                |
| 小 計                | 100,000   | 100,000    | 93,040     | 6,960   |                      |
| 13.予 備 費           | 250,000   | 250,000    | 0          | 250,000 |                      |
| 当期支出合計(C)          | 2,316,000 | 2,050,000  | 1,962,513  | 87,487  |                      |
| 14.当期収支差額(A-C)     | ▲341,860  | ▲39,700    | 625,074    | —       |                      |
| 15.次期繰越収支差額(B-C)   | 1,618,375 | 1,295,461  | 1,960,235  | —       |                      |

注)\* 差異欄:収入項目 b-a, 支出項目 a-b

## 平成21年度 事業計画(案)

### 1. 研究委員会活動

#### ■委員会名:四国の骨材に関する研究委員会【継続】

委員長:堺 孝司(香川大学工学部安全システム建設工学科 教授)

活動計画:四国の骨材の現状把握を行うと共に、諸問題に対する対策について検討する。

#### ■委員会名:環境配慮型コンクリート構造物設置後の機能変化に関する調査研究委員会【新規】

委員長:上月康則(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授)

顧問:水口裕之(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授)

活動計画:四国内に設置された環境配慮型コンクリート構造物について、当初必要とされていた様々な機能が、時間を経てどのように変化したかについて、現地調査、整理を行い、当構造物の今後の製造、利用方法について議論し、それを委員会報告書としてまとめる。なお、ここで機能とは、水質浄化、生物生息場、景観などの環境機能の他、強度などの物理化学的なものも含める。

#### ■委員会名:四国のコンクリート需要の将来予測に関する研究委員会【新規】

委員長:大内雅博(高知工科大学工学部社会システム工学科 准教授)

活動計画:構造材料としての役割に変化の無いことを前提とし、今後30年の四国におけるコンクリートの需要を予測する。インフラの充足度、構造物や建築物の寿命、過去の統計データ等を用いて将来予測を試みる。

### 2. 特別講演会

講演題目:「スイスでは今、何を造っているか」

講演者:大内雅博(高知工科大学工学部社会システム工学科 准教授)

日時:平成21年5月22日 16:30~17:30

場所:ロイヤルパークホテル高松

### 3. 講習会

#### (1)生コンセミナー in 香川

日時・場所:未定

#### (2)JCI四国・中国支部共催コンクリート工学セミナー in 高知

日時・場所:未定

#### (3)四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する講習会

日時・場所:未定

#### (4)建設に関わる物資フローに関する講習会

日時・場所:未定

(5)「コンクリートのひび割れ、補修・補強指針」改訂講習会(参考資料 11)

日時:平成 21 年 8 月 4 日(火) 13:00～17:30

場所:ホテルパールガーデン(旧 ウエルシティ高松)

定員:100 名程度

(6)新刊コンクリートライブラリー126 号「古代ローマコンクリート ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡から発掘されたコンクリートの調査と分析」およびコンクリート技術シリーズ 84 号「土木学会規準として制定が望まれる試験方法の動向」に関する講習会(参考資料 12)

日時:平成 21 年 12 月 4 日(金) 13:30～17:35

場所:サンメッセ香川

定員:50 名程度

**4. 現場見学会(参考資料 13)**

日時:平成 21 年 12 月(午後半日予定)

場所:R192 号 徳島南環状道路(鮎喰工区)

・ニューマチックケーソン工事等【12 月施工予定】

定員:20 名程度

**5. コンクリート教育への助成**

阿南工業高等専門学校(建設システム工学科 天羽和夫教授)に助成を行う。

**6. コンクリート診断士講習会**

日 時:平成 21 年 4 月 6 日(月)～7 日(火)

場 所:サンメッセ香川

**7. コンクリート診断士試験**

日 時:平成 21 年 7 月 26 日(日)

場 所:香川大学工学部

**8. コンクリート技士・同主任技士試験**

日 時:平成 21 年 11 月 29 日(日)

場 所:香川大学工学部

**9. ホームページ**

JCI 四国支部のホームページを充実させる。

**10. 会員増強**

JCI 会員の増強を図る。

**11. その他**

「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会」

平成 20 年度活動報告

平成 20 年度は 2 回の委員会を開催した。委員会の概要は以下のとおりである。

また、第 5 回委員会議事録にあるように、平成 20 年度末に報告書の 1 次案を作成し、21 年 5 月に完成を予定していたが、やや遅れている状況である。なお、21 年度には報告書の作成とともに講習会の開催を予定している。

第 4 回委員会

1. 日 時：平成 20 年 7 月 15 日(火) 14:00～17:00
2. 場 所：ホテルニューフロンティア
3. 出席者：氏家勲、草薙悟志、横田優、牛島栄、水口裕之、齋藤実、秋田裕二、群政人、光中博彦、山崎吉則、石田尚之、(11 名)
4. 議事
  - ・徳島県における橋梁長寿命化への取組みに関して、話題提供をしてもらった。
  - ・N E X C O 西日本四国支社の橋梁構造物の維持管理およびコンクリート構造物診断技術について、話題提供をしてもらった。
  - ・J C I の「コンクリート構造物のアセットマネジメント研究委員会」のリーフレットの紹介がなされた。
  - ・今後は報告書の作成に向けて、雛形をつくる。
  - ・報告書はアセットマネジメントを実施する機関に対するテキストの役割のものとする。

第 5 回委員会

1. 日 時：平成 20 年 12 月 19 日(金) 14:30～17:00
2. 場 所：ロイヤルパークホテル高松
3. 出席者：氏家勲、草薙悟志、横田優、水口裕之、群政人、杉本寧、光中博彦、宇野匡和、山崎秀幸 (9 名)
4. 議事
  - ・以下の報告書の目次について検討した。
    1. はじめに
    2. 背景
    3. アセットマネジメントの概要
    4. 四国における取り組み例
    5. アセットマネジメント支援技術
    6. 今後の課題
    7. おわりに
  - ・4 章の取り組み例として、市町村に対しての説明に用いられた愛媛県における橋梁長寿命化への取り組みが紹介された。
  - ・徳島県の市町村に対して説明された橋梁点検の実施概要と点検結果を基にして長寿命化修繕計画を策定する上での課題と解決策が紹介された。
  - ・報告書は年度末までに 1 次案を作成し、5 月頃に完成の予定。
  - ・報告書は本委員会の委員および関係者に配布する。
  - ・報告書を用いて講習会などが開催できれば、実施する。

四 国 の 骨 材 に 関 す る 研 究 委 員 会  
(社)日本コンクリート工学協会四国支部

平成 2 0 年度活動報告

1. 委員会の開催状況（平成 20 年度はこれまでに 2 回の本委員会と 3 回の合同 WG を開催）

・第 1 回本委員会（21 名出席）

日時：平成20年8月27日（水） 14:00～17:00

場所：香川大学工学部2号館2階 2209演習室

議事：・委員会設置趣旨の説明について

- ・コンクリートの乾燥収縮について(文献等により把握)
- ・最近の骨材に関する動向及び問題点について(各委員より意見交換)
- ・今後の活動方針について(WG及び担当主査を設定する)
  - a)WG1：堺主査：骨材の生産・輸送による環境負荷の把握と負荷低減策の検討
  - b)WG2：氏家主査：骨材の生産・供給状況の把握・コンクリート用骨材(粗骨材・細骨材)の岩種及び品質の把握
  - c)WG3：島主査：コンクリートの乾燥収縮に関する検討（現状把握）
  - d)WG4：橋本主査：コンクリートの乾燥収縮に関する検討（対策検討）

・第 1 回WG3.4合同委員会（18 名出席）

日時：平成20年9月22日（月） 14:00～17:30

場所：高知工科大学C棟5階プレゼンテーションルーム

議事：・骨材の乾燥収縮測定の実状と今後の方針について

- ・乾燥収縮提言の方策について

・第 2 回WG3.4合同委員会（18 名出席）

日時：平成20年12月2日（金） 14:30～16:00

場所：リーガーロイヤルホテル新居浜

議事：・乾燥収縮試験の中間報告について

- ・岩石の特性について・生コン工業組合における調査状況について
- ・簡易乾燥収縮試験方法について

・第 2 回本委員会（23 名出席）

日時：平成21年3月10日（火） 14:00～17:00

場所：香川大学工学部2号館2階 2209演習室

議事：・WG3.4合同委員会の活動報告について

- ・コンクリートの乾燥収縮についての情報交換(委員より意見交換)
- ・WG1.2に関するアンケート調査について(骨材関係委員及び生コン関係委員よりアンケート調査に対する説明)
- ・今後の活動方針について(各WGの活動について)

・第3回WG3.4合同委員会（18名出席）

日時：平成21年3月27日（金） 14:00～17:00

場所：松山道後にぎたつ会館

議事：・岩石鉱物がコンクリートの乾燥収縮に及ぼす影響について(文献等の紹介)

- ・乾燥収縮試験の中間報告及び追加試験の岩石の乾燥収縮の報告について
- ・生コン工業組合における調査結果について
- ・簡易乾燥収縮試験方法について

2. 今後の活動予定

- ・WG1.2は、7月を目途に骨材業界・生コン業界を対象にして環境負荷量をも含めた骨材の使用動向等に関する調査を実施して検討する。
- ・WG3.4は次回合同委員会を、平成21年6月17日（金）に開催予定。この際に、更なる骨材の特性等の調査の実施及び抑制対策の検討等の方針を取りまとめて事業方針を策定することとした。WGから現時点における報告書原稿案を提出してもらい、議論を行う。報告書の最終原稿は今年度末の完成を目標に執筆を進める。

(以上)

2008年4月30日

関係各位

香川大学工学部 教授 白木 渡  
BM研究会会長 古田 均(関西大学教授)

## ブリッジマネジメント・ワークショップ開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

社会資本の維持管理、なかでも道路橋の維持管理をこれからどのように行っていくかは、土木技術者にとって大きな課題となっております。道路橋の維持管理には、点検手法、劣化予測手法、個々の劣化・損傷に対する補修・補強の方法、ブリッジマネジメントシステム(BMS)を活用した効率的な維持管理手法、あるいはそれらの全ての実務に携わる人材の育成や社会体制など数多くの課題があります。社会資本の維持管理に携わる土木技術者全員が、情報共有と意見交換を通じて一致協力してこの問題に取り組むことが大切だと考えております。

この度、この分野での調査・研究ならびに実践において積極的な活動を展開している土木技術者の方々を招いて、国内外における最新情報の共有と意見交換を行う場として、ブリッジマネジメント・ワークショップを開催する運びとなりました。ご多忙とは存じますが、できるだけ多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げます次第です。また、お近くの方でご興味をお持ちの方にもご案内いただくと幸いです。

敬具

### 記

- |             |                                                                                                                                                                                                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 催         | (財)大阪地域計画研究所(RPI) ブリッジマネジメント研究会                                                                                                                                                                |
| 共 催         | 香川大学危機管理研究センター、土木学会四国支部、日本材料学会四国支部、<br>日本コンクリート工学協会四国支部、道路橋補修補強工ギルド研究会                                                                                                                         |
| 日 時         | 平成20年5月30日(金) 13:30~17:00(受付開始:13:00)                                                                                                                                                          |
| 場 所         | 香川大学研究交流棟 5F 研究者交流スペース<br>(幸町キャンパス、教育学部内:〒761-8521 香川県高松市幸町1-1)<br>参照 URL: <a href="http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~HPmaster/campus.html">http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~HPmaster/campus.html</a> |
| 参加費         | 無 料                                                                                                                                                                                            |
| テキスト        | 「2006年 米国土木構造物 補修・補強調査報告書」<br>希望者は事前予約販売(申込書に記載下さい):(販売価格3,150円)                                                                                                                               |
| 定 員         | 約100名                                                                                                                                                                                          |
| 参加申込み及び問合せ先 | FAXによる申込:087-864-2243<br>香川大学・工学部・信頼性情報システム工学科 白木 渡宛<br>(定員に達し次第、締め切らせていただきます)                                                                                                                 |
| プログラム       | 別紙開催案内をご参照下さい                                                                                                                                                                                  |
| C P D       | 本ワークショップは土木学会の継続教育制度(CPD)に申請済みです。<br>登録手続きは各自で行ってください(CPD単位:3.5)                                                                                                                               |

## プログラム

|             |                               |                       |
|-------------|-------------------------------|-----------------------|
| 13:30～13:40 | 開会の挨拶                         | 〔香川大学教授 白木 渡〕         |
| 13:40～14:10 | 塩害劣化予測システムの開発と応用              | 〔香川大学教授 松島 学〕         |
| 14:10～14:50 | BMSの実用化事例紹介                   | 〔青森県県土整備部 川村 宏行〕      |
|             | ・ BMSの運用と橋梁マネジメントの成果          |                       |
|             | ・ BMSを用いた橋梁長寿命化修繕計画策定         |                       |
| 14:50～15:00 | 休憩                            |                       |
| 15:00～15:40 | 橋梁点検のポイント                     | 〔RPI技術顧問 羽子岡 爾朗〕      |
| 15:40～16:20 | コンクリートの塩害対策／フロリダ州交通局腐食研究室視察報告 | 〔i-ギルド研究会 宮口 克一〕      |
|             | ・ 電気防食工法の開発と実用化               |                       |
|             | ・ 耐腐食性鉄筋の性能検証実験               |                       |
|             | ・ 腐食抑制剤の性能検証実験                |                       |
| 16:20～16:50 | 道路施設の包括的維持管理（アメリカ視察報告）        |                       |
|             | ・ ヴァージニア州交通局視察報告              | 〔RPI理事 金氏 眞〕          |
| 16:50～17:00 | 閉会の挨拶                         | 〔BM研究会会長・関西大学教授 古田 均〕 |
|             |                               | 以 上                   |

FAX. 087-864-2243

香川大学信頼性情報システム工学科 白木 渡 宛

## ブリッジマネジメント・ワークショップ

### 参加申込書

5月30日に、香川大学にて開催されるワークショップへの参加を申し込みます。

|      |     |        |  |               |
|------|-----|--------|--|---------------|
| 参加者1 | 氏 名 |        |  | テキスト希望<br>の有無 |
|      | 所 属 |        |  | 冊             |
|      | 役 職 |        |  |               |
|      | 連絡先 | 電話番号   |  |               |
|      |     | E-Mail |  |               |
| 参加者2 | 氏 名 |        |  | 冊             |
|      | 所 属 |        |  |               |
|      | 役 職 |        |  |               |
|      | 連絡先 | 電話番号   |  |               |
|      |     | E-Mail |  |               |



平成 20 年 5 月 12 日

各 位

(社) 土木学会四国支部  
支部長 山上 拓男  
(社) 日本コンクリート工学協会四国支部  
支部長 堺 孝司

### 2007 年制定 コンクリート標準示方書 発刊に伴う四国地区講習会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

2002 年制定コンクリート標準示方書は、新世紀のコンクリート構造物の設計体系である性能照査型示方書体系への大改訂を行いました。2007 年制定の改訂では、設計に関する実務の利便性を考慮し、[設計編]を従来の[構造性能照査編]と[耐震性能照査編]を併せたものとし、[設計編]で取り扱う耐久性についての照査と初期ひび割れ照査を[施工編]から[設計編]に移しました。[舗装編]の制定・改訂は舗装工学委員会に引き継がれ、舗装標準示方書として別途発刊されることになっております。その結果、2007 年制定コンクリート標準示方書は、[設計編]、[施工編]、[維持管理編]、[ダムコンクリート編]および[規準編]の 5 編の構成になりました。なお、[規準編]は、昨年 5 月末にすでに発刊されております。

つきましては、土木学会四国支部では、日本コンクリート工学協会四国支部との共催で、この講習会を四国で開催することに致しました。なお、支部講習会としては、中部支部、中国支部に次ぐ 3 番目に早い開催であります。

万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

#### 記

- 主催：(社) 土木学会四国支部
- 共催：(社) 日本コンクリート工学協会、四国コンクリート技術懇話会
- 日時：6 月 25 日 (水) 12:30～18:00
- 会場：サンポートホール高松 第 1 小ホール (高松シンボルタワー内ホール棟 4 階)  
(TEL: 087-825-5000 <http://www.sunport-hall.jp/>)
- 定員：300 名 (申込み先着順)
- プログラム：
  - 0:30－ 開場・受付開始
  - 1:00－1:10 開会挨拶 土木学会四国支部
  - 1:10－2:35 設計編 島 弘 (高知工科大学)
  - 2:35－2:45 休憩
  - 2:45－4:10 施工編 橋本 親典 (徳島大学大学院)
  - 4:10－4:20 休憩
  - 4:20－5:45 維持管理編 氏家 勲 (愛媛大学大学院)
  - 5:45－6:00 閉会挨拶 日本コンクリート工学協会四国支部支部長 堺 孝司 (香川大学)

- 参加費：聴講料として【土木学会：会員 5,000 円】，【JCI：正会員 5,000 円，団体会員 6,000 円】，【四国コンクリート技術懇話会：6,000 円】，非会員 7,000 円（土木学会，JCI どちらにも属さない方），学生会員 3,000 円を徴収します。（いずれも吉田博士記念基金への寄付金 1,000 円を含む）

●テキスト・・・テキスト購入を希望される方は、講習会参加申込時に申込みをしてください。

- 1) コンクリート標準示方書—設計編— 定価 8,400 円 <予約販売価格 7,500 円>
- 2) コンクリート標準示方書—施工編— 定価 6,930 円 <予約販売価格 6,200 円>
- 3) コンクリート標準示方書—維持管理編— 定価 4,830 円 <予約販売価格 4,300 円>
- 4) コンクリート標準示方書—ダムコンクリート編— 定価 4,095 円 <予約販売価格 3,600 円>
- 5) コンクリート標準示方書—規準編— 定価 8,400 円 <予約販売価格 7,500 円>
- 6) コンクリートライブラリー「2007 年版コンクリート標準示方書 改訂資料」— 定価 3,990 円  
<予約販売価格 3,500 円>

●申込み方法ならびに聴講料・テキスト代の支払い方法：

参加ご希望の方は、別紙の申込用紙に氏名、勤務先、住所、電話番号、FAX 番号、請求書類の要・不要を明記し、下記まで FAX または電子メールでお申し込みください。聴講料・テキスト代については、下記口座まで振り込んでください。当日現金払いも可です。  
なるべく、申込み期限までに口座振込でお願いいたします。

●申込期限・・・平成 20 年 6 月 18 日（水）必着とする。

●申込先：（社）土木学会四国支部（担当 林）

〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル

TEL：087-851-3315 FAX：087-851-3313

E-mail：doboku7@mail.netwave.or.jp

●振込先： 銀行口座 百十四銀行松福支店（普）0388126

郵便振替口座 01630-8-34195

口座名：社団法人土木学会四国支部

●問合先： 徳島大学 橋本親典

TEL：088-656-7321/FAX：088-656-7351

E-mail：chika@ce.tokushima-u.ac.jp

平成 20 年 5 月 13 日

各 位

(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

支部長 堺 孝司

(社) 土木学会四国支部

支部長 山上 拓男

## フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

四国は全国的に見ても良質のフライアッシュが産出されており、コンクリートへの利用に関する検討も進んでいます。これに対し日本コンクリート工学協会四国支部では「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」(委員長：上田隆雄)を発足し、フライアッシュコンクリートをさらに普及させることを目的として、コンクリートへのフライアッシュの利用の現状を調査すると共に、新たな利用方法についても調査・研究を進め、さらにはフライアッシュを混和したコンクリートの耐久性評価に関する研究を実施してきました。

つきましては、2006 年 5 月から約 2 年間の調査研究活動の成果を報告する講習会を下記の要領で開催致します。奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

1. 主催 (社)日本コンクリート工学協会四国支部
2. 共催 (社)土木学会四国支部、四国コンクリート技術懇話会
3. 日時 2006 年 7 月 24 日(木) 13:30～16:50
4. 場所 徳島大学工学部工業会館メモリアルホール  
(徳島市南常三島町 2-1 TEL：088-656-5432)  
\*お願い：十分な駐車スペースがありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。
5. 聴講料 会員：3000 円、非会員：5000 円、学生：1500 円（なお、この聴講料にはテキスト代 1,000 円が含まれます。会員とは土木学会、日本コンクリート工学協会、及び四国コンクリート技術懇話会の会員を指します。聴講料は当日、会場で徴収致します。）
6. 定員 100 名
7. 申込方法 「参加申込書」に所定事項を明記の上、下記の申込先まで F A X または E-mail にてお申し込み下さい。  
\*申込みに関してのお願い  
□申込締切日前に定員に達している場合がございますので、予めご了承下さい。なお、締切日以降の事前受付は致しません。ただし定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付致します。

□申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合、必ず開催日の5日前（土・日、祝祭日を含まず）までに申込先にご連絡下さい。ご連絡がない場合は、聴講料を徴収させていただきますので予めご了承下さい。

□事前にご送金頂くことはトラブルの原因となりますので固くお断り致します。

8. 申込先 香川大学工学部安全システム建設工学科 堺教授室 明神千恵

Tel/Fax: 087-864-2152 E-mail: myojin@eng.kagawa-u.ac.jp

9・内容問合せ先 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 上田隆雄

Tel:088-656-2153 Fax:088-656-7351 E-mail: ueda@ce.tokushima-u.ac.jp

# 10. プログラム

総合司会：原田 隆敏（大和生コンクリート工業）

13:30-13:40 開会挨拶 JCI名誉会員 河野 清（徳島大学名誉教授）

13:40-14:20 四国内におけるフライアッシュ利用の現状に関する調査 石井 光裕（四国総研）

14:20-14:40 フライアッシュの有効利用法に関する検討事例 堀井 克章（阿南高専）

14:40-15:00 コンクリート施工性能の向上に関する検討 橋本 親典（徳島大学）

15:00-15:20 休憩

15:20-15:40 FAを内割混和したコンクリートの耐久性に関する検討 横井 克則（高知高専）

15:40-16:00 コンクリートのひび割れ低減効果に関する検討 水口 裕之（徳島大学）

16:00-16:20 フライアッシュコンクリートを用いた実構造物の調査 横田 優（四国総研）

16:20-16:40 フライアッシュの利用拡大に関する提言と今後の課題 上田 隆雄（徳島大学）

16:40-16:50 閉会挨拶 上田 隆雄（徳島大学）

## 参加申込書

| 氏名（代表者） | 勤務先 | 連絡先      |
|---------|-----|----------|
|         | 所属  | TEL :    |
|         | 住所  | FAX :    |
|         |     | E-mail : |

| 氏名（参加者1） | 氏名（参加者2） | 氏名（参加者3） | 氏名（参加者4） |
|----------|----------|----------|----------|
|          |          |          |          |

注）JCIの会員はお名前の前に○をつけてください。

備考欄

|  |
|--|
|  |
|--|

平成20年8月1日

日本コンクリート工学協会会員 各位

日本コンクリート工学協会中国支部  
支部長 井上 正一



## 平成20年度JCI中国・四国支部共催コンクリート工学セミナーin 広島 ——コンクリートポンプ施工技術の現状と問題点—— 開催のお知らせ

拝啓

時下 益々 ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

本コンクリート工学セミナーは、中国支部と四国支部の連携事業の一環として、両支部の一般会員を対象に、両支部の大学の教員に、それぞれの専門分野に関して、最新のコンクリート工学の技術の現状をよりわかりやすく講演していただき、コンクリート関連の研究・業務に役立てて頂く機会を提供することを目的としております。

秋の行楽シーズンで何かとお忙しい時期とは存じますが、中国支部、四国支部を始め、他支部の皆様のご参加を期待しています。

敬具

1. 主 催：社団法人 日本コンクリート工学協会中国支部  
社団法人 日本コンクリート工学協会四国支部
- 後 援：土木学会中国支部，日本材料学会中国支部，社団法人 日本建築学会中国支部  
土木学会四国支部，日本材料学会四国支部，四国コンクリート技術懇話会
3. 日 時：平成20年9月17日(水) 午後1:30～午後5:00
4. 場 所：広島工業大学 広島校舎  
〒730-0811 広島市中区中島町5-7 TEL 082-249-1251 FAX 082-249-2066
5. 参加費：会員 4500円，非会員6000円（参加費にはテキスト「コンクリートポンプ施工技術調査委員会」報告書1冊(会員価格：3150円)が含まれています。）
6. 定 員：100名(申込先着順)
7. プログラム：
 

|                                          |                      |
|------------------------------------------|----------------------|
| 会場開演 午後1:00～                             | 司会 中国支部幹事 黒田 保（鳥取大学） |
| 1:30～1:40 開会挨拶                           | 中国支部支部長 井上 正一（鳥取大学）  |
| 1:40～3:10 「コンクリートポンプ施工の実態調査」             | 和美 廣喜（島根大学）          |
| 3:10～3:20 休憩                             |                      |
| 3:20～4:50 「事故等の現状と安全性」 & 「圧送性とコンクリートの品質」 | 橋本 親典（徳島大学）          |
| 4:50～5:00 閉会挨拶                           | 中国支部常任委員 和美 廣喜（島根大学） |
8. 申込み方法・問い合わせ先：〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101  
鳥取大学工学部土木工学科 黒田 保  
TEL 0857-31-5523 / FAX 0857-28-7899  
E-mail [jci-chugoku@cv.tottori-u.ac.jp](mailto:jci-chugoku@cv.tottori-u.ac.jp)

「コンクリートポンプ施工技術の現状と問題点に関する講習会」参加申込みとして参加者氏名，所属，電話，FAXを明記し，上記宛にFAX，郵送あるいはEメールにて申込み下さい。参加費は当日会場でお支払い下さい。参加費別途支払いを希望される方は，申込書に請求書等を指示下さい。なお，定員になり次第締め切らせていただきます。

## 「平成 20 年度 生コンセミナー in 松山」

謹啓 時下益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

幅広いコンクリートに関する知見を深めることを目的としまして、以下の要領でセミナー開催させていただきます。本セミナーは四国四県持ち回りで、去年は徳島県で開催されました。産官学それぞれの立場の方に講師をお願いし、話題提供をいただきます。参加費は無料ですので、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

敬具

1. 主催者：(社)日本コンクリート工学協会四国支部
2. 日 時：平成 21 年 3 月 9 日(月) 13:30～17:00
3. 場 所：愛媛大学工学部 4 号館 1 F 18 番講義室 (別紙参照)  
(松山市文京町 3)
4. 参加費：無料
5. 講演プログラム (13:00～受付開始)
  - 13:30～13:35 開会の挨拶  
(社)日本コンクリート工学協会四国支部幹事 氏家 勲
  - 13:35～14:35 養生がコンクリートの耐久性に与える影響について  
愛媛大学大学院理工学研究科助教 岡崎 慎一郎
  - 14:35～14:45 休憩
  - 14:45～15:45 建設会社が求める生コンの性能  
(株)大林組技術研究所副所長 十河 茂幸
  - 15:45～15:55 休憩
  - 15:55～16:55 コンクリートの品質と検査  
(独)土木研究所材料地盤研究グループ基礎材料チーム統括主任研究員 森濱 和正
  - 16:55～17:00 閉会の挨拶

なお、講演の順番および講演題目が変更になる場合もあることをご了承ください

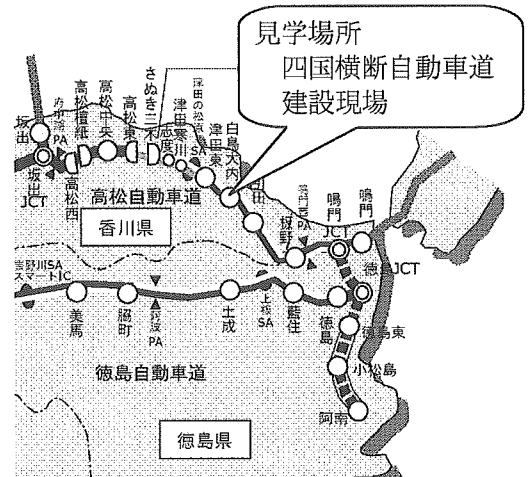
### 6. 申込み方法

当日配布する資料の部数を把握するために、下記まで E-mail または FAX でお申し込みください。

- ・ 申込み締切日：3 月 5 日(木)
- ・ 申込み先および問合せ先： 愛媛大学大学院理工学研究科 氏家 勲  
E-mail：iujike@cee.ehime-u.ac.jp  
FAX：089-927-9842 TEL：089-927-9819

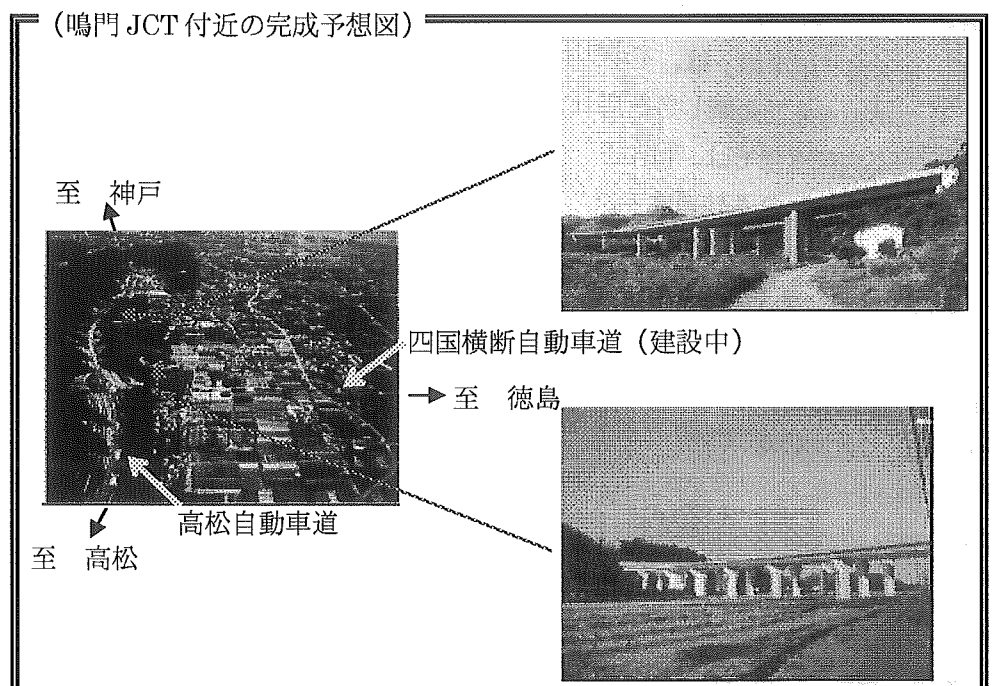
## H20 年度 JCI 四国支部 現場見学会開催のお知らせ

1. 実施日：平成 20 年 10 月 29 日(水)
2. 見学地：四国横断自動車道 徳島 I C～鳴門 J C T 建設工事現場  
橋梁下部工工事等
3. 参加定員：40 人
4. 参加費：1000 円／人（当日徴収致します）
5. 見学行程：
  - 12:50 高松駅前集合
  - 13:00 高松駅前出発
  - 13:20 高松道、高松中央 IC 通過
  - 14:00 高松道、鳴門西 PA 着
  - 14:10 高松道、鳴門西 PA 発
  - 14:15 高松道、鳴門 IC 通過
  - 14:25 鳴門 JCT 建設工事現場着  
（概要説明、現場見学）
  - 15:50 鳴門 JCT 建設工事現場発
  - 16:10 高松道、鳴門 IC 通過
  - 16:15 高松道、鳴門西 PA 着
  - 16:25 高松道、鳴門西 PA 発
  - 17:00 高松道、高松中央 IC 通過
  - 17:20 高松駅前到着、解散

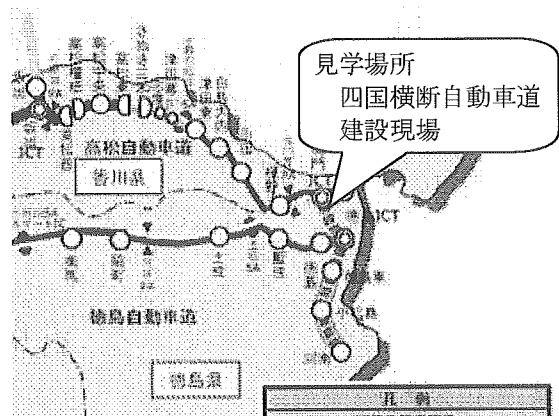


| 凡 例                     |       |
|-------------------------|-------|
| 高速自動車国道                 |       |
|                         | 開通区間  |
|                         | 事業中区間 |
|                         | 新直轄区間 |
|                         | 計画区間  |
| 一般国道自動車専用道路             |       |
|                         | 開通区間  |
|                         | 事業中区間 |
|                         | 計画区間  |
| 高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 |       |
|                         | 開通区間  |
|                         | 事業中区間 |

（鳴門 JCT 付近の完成予想図）



1. 日時 平成20年10月29日(水)
2. 場所 四国横断自動車道建設現場  
徳島JCT(仮称)～鳴門JCT(仮称)  
(徳島県鳴門市、松茂町)
3. 参加人員 18人
4. 参加費 1000円／人
5. 行程 13:00 高松駅前出発  
14:25～15:50 建設現場  
(概要説明、現場見学)  
17:20 高松駅前到着、解散



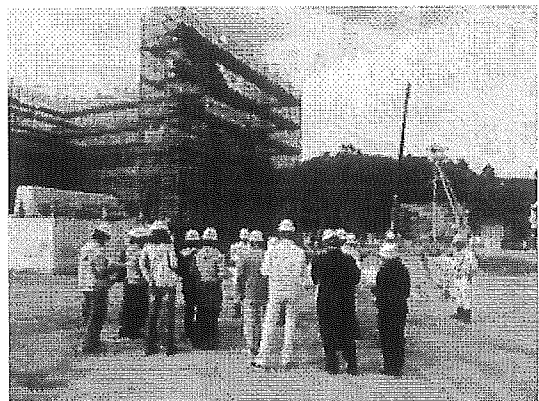
|                         |       |
|-------------------------|-------|
| 孔 動                     |       |
| 高遠自動車国道                 |       |
| 高遠自動車国道                 | 松本区間  |
| 高遠自動車国道                 | 松本市区間 |
| 高遠自動車国道                 | 新井町区間 |
| 高遠自動車国道                 | 村田区間  |
| 一般国道自動車専用道路             |       |
| 一般国道自動車専用道路             | 松本市区間 |
| 一般国道自動車専用道路             | 新井町区間 |
| 一般国道自動車専用道路             | 村田区間  |
| 高遠自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 |       |
| 高遠自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 | 松本市区間 |
| 高遠自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路 | 新井町区間 |

|      |           |           |
|------|-----------|-----------|
| 基本計画 | H元.2.27   | H元.2.27   |
| 整備計画 | H8.12.27  | H8.12.27  |
| 施工命令 | H10.12.25 | H10.12.25 |

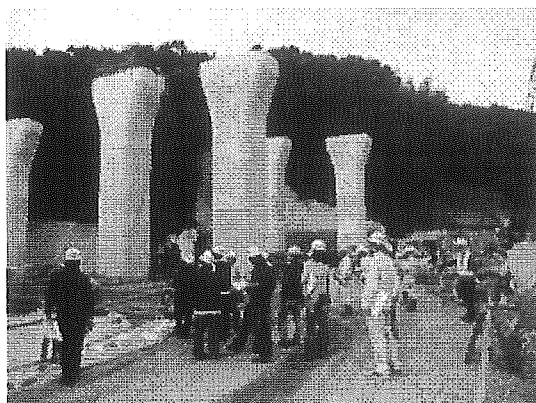
設計規格：第1種第2級B規格  
設計速度：100 km/h  
車線數：暫定2車線(完成4車線)

完成予定(協定上) : H27.3  
用地取得率 : 97% (H20.9 末)  
工事着手率 : 11% (H20.9 末)

阿南市を起点に徳島市、高松市、四国中央市、高知市、四万十市を経て、大洲市に至る約 441 km の高速自動車国道



(概要説明)



(鳴門 JCT(仮称)ランプ 橋下部工建設現場)



(鳴門 JCT～徳島 JCT 間、長岸橋(仮称)  
鋼上部工建設現場)

## コンクリート診断士講習会会場別受講申込者数

| 会場名  | 受験申込者数  |         |         |         |         |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
|      | 2005 年度 | 2006 年度 | 2007 年度 | 2008 年度 | 2009 年度 |
| 札幌   | 370     | 450     | 349     | 389     | 442     |
| 仙台   | 371     | 398     | 300     | 314     | 347     |
| 東京・1 | 512     | 639     | 498     | 567     | 589     |
| 東京・2 | 440     | 548     | 498     | 389     | 440     |
| 東京・3 | 448     | 312     | 334     | 474     | 430     |
| 名古屋  | 392     | 474     | 390     | 434     | 444     |
| 大阪・1 | 403     | 480     | 505     | 500     | 374     |
| 大阪・2 | 227     | 250     | 163     | 190     | 333     |
| 広島   | 202     | 315     | 224     | 313     | 273     |
| 高松   | 156     | 162     | 146     | 163     | 184     |
| 福岡   | 502     | 593     | 465     | 631     | 631     |
| 沖縄   | 37      | 61      | 31      | 43      | 57      |
| 計    | 4,060   | 4,682   | 3,903   | 4,407   | 4,544   |

## コンクリート診断士試験およびコンクリート技士・同主任技士試験結果の概況

### ■コンクリート診断士試験

日 時：平成 20 年 7 月 27 日(日) 11:00～17:00

場 所：香川大学工学部

|         | 平成 20 年度     |
|---------|--------------|
| 受験申込者数  | 186          |
| 受験者数    | 153          |
| 合格者数・高松 | 20(13.1%)    |
| 合格者数・全国 | 5,964(15.9%) |

( )内は合格率

### ■コンクリート技士・同主任技士試験

日 時：平成 20 年 11 月 30 日(日) 13:30～16:30

場 所：香川大学経済学部

|         | 技 士           |              | 主任技 士      |            |
|---------|---------------|--------------|------------|------------|
|         | 平成 19 年度      | 平成 20 年度     | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
| 受験申込者数  | 305           | 349          | 112        | 100        |
| 受験者数    | 262           | 313          | 96         | 94         |
| 合格者数・高松 | 85 (32.4%)    | 96(30.7%)    | 17(17.7%)  | 15(16.0%)  |
| 合格者数・全国 | 2,601 (30.7%) | 2,709(30.3%) | 386(12.2%) | 384(12.0%) |

( )内は合格率

2009.5.22

## J C I 四国支部

## 「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針」改定講習会会告（案）

近年、維持管理の重要性が一層増加し、コンクリート構造物では、設計法や施工技術の進歩、及び材料事情や使用環境条件などの変化も加わって、コンクリートのひび割れに関する関心がさらに高まっています。

（社）日本コンクリート工学協会では、これまでコンクリートのひび割れに関する調査・研究活動を行ってまいりました。すなわち、1980年5月に「コンクリートのひび割れ調査・補修指針」を制定、発刊し、1987年2月には「補強」を加えて、「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針」、さらに2003年6月には「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針—2003—」を発刊いたしました。

この指針は、我が国のコンクリート構造物の耐久性・水密性・耐力などの確保に少なからず貢献してきたと自負しております。しかしながら、当初の指針作成からすでに30年近く経過し、コンクリートを取り巻く環境も大きく変化してきています。土木や建築関係の基準類や規格類も著しく変わりました。本協会では2001年より「コンクリート診断士制度」が発足し、さらにひび割れそのものの調査、補修・補強などの技術も大きく向上しています。このため、時代に合致した斬新な内容で旧指針を全面的に改定することとして、この3年余り指針改定の委員会活動を行って参りました。特に、ひび割れに最も懸念を抱くコンクリート構造物の所有者・管理者が対応できるように努めました。

その成果として、今般「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針—2009—」を取りまとめ刊行するに至りました。この機会に、標記講習会を下記により実施することになりました。

コンクリート構造物の所有者・管理者ならびに土木・建築技術者、コンクリートの製造者、施工者が多数聴講されますよう、ご案内申し上げます。

## 記

1. 主 催 (社)日本コンクリート工学協会四国支部
2. 共 催 四国コンクリート技術懇話会
3. 日 時 2009年8月4日（火） 13:00～17:30
4. 場 所 ホテルパールガーデン（旧ウエルシティ高松）  
高松市福岡町 2-2-1 tel.087-821-8500
5. 配付資料 コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針—2009—
6. 聴 講 料 会員（個人／団体会員／共催団体含む）：11,000 円、非会員：13,000 円  
（なお、この聴講料には、テキスト代が含まれます。聴講料は当日、会場で徴収します。）
7. 定 員 100名
8. 申込方法 「参加申込書」に所定事項を明記の上、下記の申込先までFAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

## ＊申込に関してのお願い

- 申込締切日前に定員に達している場合がございますので、予めご了承下さい。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて

受付いたします。

- 申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合、必ず開催日の5日前（土・日、祝祭日を含まず）までに申込先にご連絡下さい。ご連絡がない場合は、聴講料を徴収させていただきますので予めご了承ください。
- 事前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。
- すでに「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針－2009－」を購入されている方は、会員（個人／団体会員／共催団体含む）：1,000 円、非会員：4,000 円を徴収いたしますので、その旨を通信欄に記入しておいてください。

9. 申込および (社)日本コンクリート工学協会四国支部事務局 井戸未貴

内容問合せ先 TEL&FAX:087-864-2152 E-mail: m-ido@eng.kagawa-u.ac.jp

10. 申込締切日 7月27日(月) 17:00

#### 11. プログラム

総合司会：古田満広（香川生コン工組）

13:00－13:05 開会挨拶 JCI 四国支部支部長 堺 孝司（香川大学教授）

13:05－14:25 総則，調査，ひび割れの原因推定（1,2,3 章） 橋本親典（徳島大学大学院教授）

14:25－14:35 休憩

14:35－15:55 評価，補修・補強の要否判定（4,5 章） 鎌田敏郎（大阪大学大学院教授）

15:55－16:05 休憩

16:05－17:25 補修・補強，事例（6 章，事例集） 氏家 勲（愛媛大学大学院）

17:25－17:30 閉会挨拶 JCI 四国支部本部理事 水口裕之（徳島大学大学院教授）

#### 参加申込書

| 氏名（代表者） | 勤務先 | 連絡先      |
|---------|-----|----------|
|         | 所属  | TEL :    |
|         | 住所  | FAX :    |
|         |     | E-mail : |

| 氏名（参加者1） | 氏名（参加者2） | 氏名（参加者3） | 氏名（参加者4） |
|----------|----------|----------|----------|
|          |          |          |          |

注）JCI 四国支部の会員はお名前の前に○をつけてください。

|     |  |
|-----|--|
| 通信欄 |  |
|-----|--|

参加者が4名を超える場合は、コピーして追加してください。

平成 21 年 10 月吉日

各位

(社) 土木学会四国支部

支部長 別枝 修

(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

支部長 堀 孝司

## コンクリート技術の温故知新

— 新刊コンクリートライブラリー126号 「古代ローマコンクリート ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡から発掘されたコンクリートの調査と分析」およびコンクリート技術シリーズ84号「土木学会規準として制定が望まれる試験方法の動向」に関する講習会のご案内—

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

土木学会コンクリート委員会では、今年4月にコンクリートライブラリー126号とコンクリート技術シリーズ84号を発刊しました。コンクリートライブラリー126号は、イタリア・ソンマ(Somma)遺跡より発掘された約2000年前に製造されたと推定される古代ローマコンクリートの調査・分析に関する報告、ならびに、古代コンクリートに関連した各種文献の調査結果や、これらの知見を現代のコンクリートの長期耐久性評価に活かすための手法などについて報告したものです。コンクリート技術シリーズ84号は、コンクリート委員会規準関連小委員会が、次期示方書「規準編」改訂のための最近の試験方法に関する調査研究活動を取りまとめたものです。

環境負荷低減コンクリートの最終目標の1つに長寿命コンクリートがあります。古代ローマコンクリートは、長寿命コンクリートのお手本となるべきコンクリートの1つです。一方、長寿命のコンクリートを開発するためには、新しい技術が必要であり、同時に、性能を評価できる試験方法を開発する必要があります。示方書「規準編」は、その実務を担う重要な技術書であります。2つの新刊の講習会は、コンクリート技術の古きを訪ね新しきを知る講習会です。

土木学会四国支部では、日本コンクリート工学協会四国支部との共催で、日頃、コンクリート工事の施工に携わっておられる技術者の方々はもちろんのこと、コンクリート工事を発注・監督する各種公共団体や官庁の技術者の皆様にも、興味深い、有益な情報を提供できるように企画いたしました。

お誘いあわせの上、多数の皆様方にご参加くださいますように、お願い申し上げます。

記

●主催：(社) 土木学会四国支部

●共催：(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

●後援：四国コンクリート技術懇話会

●日時：平成21年12月4日(金) 13:30～17:35

●会場：サンメッセ香川 2F 中会議室 <http://www.sunmesse.com/index.html>

(高松市林町2217-1 Tel087-869-3333)

●定員——50名程度(申込先着順)

●参加費——会員5,000円、非会員7,000円、学生会員4,000円(2冊テキスト代含む)なお、会員は、

土木学会員またはJ C I 正会員を意味します。

●プログラム：

13:00～13:30 開場・受付

司会 土木学会コンクリート委員会委員 橋本親典（徳島大学大学院）

13:30～13:40 開会挨拶

日本コンクリート工学協会四国支部

支部長 堺 孝司（香川大学）

「古代ローマコンクリート ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡から発掘されたコンクリートの調査と分析」

13:40～15:00 趣旨・概略説明および古代ローマコンクリートの研究事例・イタリアでの調査概要

久田 真（東北大学大学院）

15:00～15:10 休憩

「土木学会規準として制定が望まれる試験方法の動向 ーコンクリートの性能評価を可能とする新しい規  
準体系とはー」

15:10～16:40 趣旨説明／セメント・骨材・混和材料／鋼材・補強材／フレッシュコンクリート

橋本 親典（徳島大学大学院）

16:40～17:10 硬化コンクリート／補修、注入材等

上田 隆雄（徳島大学大学院）

17:10～17:30 コンクリートの非破壊試験方法の規格

渡辺 健（徳島大学大学院）

17:30～17:35 閉会挨拶

日本コンクリート工学協会本部理事

水口 裕之（徳島大学大学院）

※プログラムおよび講師等については変更する場合がございます。

●申込方法：参加ご希望の方は、別紙の申込用紙に、氏名、勤務先、住所、電話番号、FAX 番号を明記の  
うえ、FAX（087-851-3313）または電子メール（[doboku7@mail.netwave.or.jp](mailto:doboku7@mail.netwave.or.jp)）でお申し込みください。

聴講料・テキスト代については、当日ご持参いただくか、下記口座までお振込ください。請求書等が必  
要な場合は申込時にお申し出ください。なるべく、申込み期限までに口座振込でお願いいたします。

●振込先：

- ・ 銀行口座 百十四銀行松福支店（普）0388126
- ・ 郵便振替口座 01630-8-34195
- ・ 口座名 社団法人土木学会四国支部

●申込期限：11月26日（木）17:00 まで

●申込・問合せ先：土木学会四国支部事務局

〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル

TEL：087-851-3315／FAX：087-851-3313

E-mail：[doboku7@mail.netwave.or.jp](mailto:doboku7@mail.netwave.or.jp)

●内容に関する問合せ連絡先：橋本 親典

〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

TEL 088-656-7321／FAX 088-656-7351

E-mail：[chika@ce.tokushima-u.ac.jp](mailto:chika@ce.tokushima-u.ac.jp)

## H21 年度 JCI 四国支部 現場見学会（案）

実施時期；平成21年12月（午後半日程度）

見学箇所：R192号 徳島南環状道路（鮎喰工区）

・ニューマチックケーソン工事等【12月施工予定】

発注者：国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所

見学行程：12：50 高松駅北側駅前集合 バス出発 13：00

14：30～15：30 現地見学

17：00 高松駅着解散

募集人数：約40人（事務局 若干名含む）

参加費：1000円／人

募集期限：11月30日（月）

問合先；日本コンクリート工学協会四国支部事務局

TEL：087-864-2152（井戸）

国土交通省四国地方整備局四国技術事務所（鷺津）

TEL：090-4977-4539（携帯）